

農業情報（令和8年4月）

内 容	写真等	とき・ところ
		主体・対象（構成員数）
知多イチゴ産地 酷暑対策への意気込み新たに 知多で観光イチゴ農園及びイチゴを市場出荷している生産者が多く所属しているイチゴ高設栽培研究会で、総会兼研究会を開催しました。研究会では酷暑対策の一環として紹介したスマホアプリが注目を集めました。ハウスの照度を測定して遮光率の目安を決める利用法を紹介し、後日利用した生産者からも「遮光資材導入の参考になった」と好評を得ました。しかし、生産者からは中東情勢の影響で資材費が4割程度値上がったり、一部遮光資材が購入できないとの情報が上がっています。農業改良普及課は、引き続き資材入荷状況の情報収集を続け、包括的な高温対策支援を継続していきます。	 スマホアプリの照度計（イメージ）	令和8年4月14日 JA あいち知多 東部総合営農センター （東浦町）
		知多イチゴ高設栽培研究会 （40名）